

行/事/予/定

5月~7月

- 5月17日(日) 大歳地区分館対抗ソフトボール大会【榎野川運動公園】
- 5月27日(水) チャレンジデー2015
- 5月30日(土) 大歳地区交通安全対策協議会【大歳地域交流センター】
- 6月 7日(日) 大歳地区分館対抗バレーボール大会【県スポーツ文化センター】
- 6月13日(土) おおとし防災の日関連イベント【大歳地域交流センター】
- 7月25日(土) おおとし夏まつり【大歳地域交流センター前駐車場】

招 招 と ひ か わ の 路

Information

■手形こいのぼりを福島市へ送りました

東日本大震災によって、被害にあわれた福島の子育て中の皆さんを励ますためにはじめた、「手形鯉のぼり」を今年も送付しました。今年、作成にあたり、大歳自治振興会長や大歳地域交流センター所長にも協力をお願いしました。今後も継続的に活動してまいりますので、多くの方の協力をお願いします。



手形鯉のぼり



▲自治振興会 会長

▲ 目玉を入れる
前交流センター所長と
自治振興会副会長

■事務局のスタッフが交代しました

4月より事務局員が交代しました。地域担当の網屋雅代と自治振興会担当の小野喜美子、原伸枝です。新人ですので皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

一生懸命、がんばります！



網屋雅代

小野喜美子

原 伸枝

■ゾーン30の運用が始まりました

3月16日、大歳地域で一定のエリアを制限速度30キロメートル以下とする「ゾーン30」の運用が始まりました。

当日は、山口警察署、山口市、小学校の児童や先生、さらには、地域の皆さん、約40人がはるパン前で、キャンペーンを行い、通行する車の運転手さんにチラシを配り、地域の交通安全を啓発しました。ゾーン30の運用で大歳地域が交通事故のない地域となればいいですね。皆さんもご協力をお願いします。



▲「ゾーン30」の
運用開始の初日
キャンペーンの様子

■チャレンジデー2015

今年の、「チャレンジデー」は、5月27日(水)に開催され、対戦相手は、「秋田市」です。去年まで、2連敗し、悔しい思いをしていますので、今年は、多くの皆様のご協力をお願いし、皆さんの健康向上をはかるとともに、勝利を勝ち取りましょう！

編集後記 山はかつて鬼や山姥の住む恐ろしげな世界でした。しかし、人間の手が入って里山が広がり、鬼は山の奥深く退散し、今の農村風景ができあがりました。しかし、里山の荒廃は激しく今にも鬼が出てきそうです。数百年の人間の努力を私たちの時代に放棄して良いのか？鬼退治を行う人間の知恵が今、求められています。(武波)

まちづくり
かわら版 おおとし

2015.5
Vol.33

●大歳自治振興会長あいさつ

大歳自治振興会の地域づくりの取り組みは、スタートして7年目となります。地域づくり計画の基本理念であります「みんなでつくろう 明るく住みよいおおとしを」の実現を目指して、毎年事業を計画、実施、見直すことにより、さらに新たな活動を加えながら、より具体的な取り組みを進めています。

毎年、重点事業の一つとして位置付けている「自治会内での事業起こし、一自治会一事業」は自治会役員の方々の創意工夫により、自治会規模等に応じて多様な事業として定着してまいりました。沢山の住民の方々が参加され着実に成果が出ております。地域の方々のご理解ご尽力に対し心より感謝申し上げます。



大歳自治振興会長
吉富 滋浩

本年度の重点事業は

1. 《おおとしは 元気なあいさつ ひびくまち》

(あいさつ運動スローガン)

元気に あいさつ運動 にみんなで取り組みます
【あかるく住みよい】まちづくりを進めます

2. 《おおとし 花いっぱい運動》に取り組みます

年2回「花づくり講習会」を開催します。



「おおとし見守り隊」による登校時の声かけ



花づくり講習会

■大歳自治振興会の副会長 (地域づくり担当)、活動部会員を募集します。

募!

大歳自治振興会の「地域づくり担当の副会長」が空席です。自薦、他薦は問いませんので皆さんの応募をお待ちしています。また、地域づくり活動を行う各部会へ参加いただける方を募集しています。応募条件はいずれも大歳地区の自治会会員であることです。たくさんの方がたの力を結集して大歳を元気にしましょう。

■「まちづくりかわら版」制作をお手伝いいただける方を募集します。

募!

「かわら版をもっと面白くして」と思われる方を歓迎します。ぜひ、その思いを編集に生かしてみませんか。かわら版は、大歳が抱える問題を探り、わかりやすく皆さんに伝え、まちづくりに役立てることを願って編集していますが、まだまだ不十分な紙面に終わっています。ぜひ、力をお貸し下さい。

詳しくは事務局 (☎920-1700) までお問い合わせください

大歳地域のコミュニティ交通に関するアンケート

回答いただいた皆さん！
ご協力ありがとうございました

高齢化が進む地域のこれからの移動手段として、コミュニティタクシー等の導入について、住民の皆さんにアンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。
アンケートは、2月15日に配布し、2月27日までの約2週間を回答期間として募集しました。回収率等は、下記のとおりとなっています。

- ・配布対象：4,535世帯
(各世帯2枚配布したため配布数は、9,070枚)
- ・回答数：2,225枚
- ・回収率・24.5%

主だった回答を見てみましょう。

問5では、現在、自動車やバイク等の免許をお持ちの方に対し、これからも引き続き自動車等に乗り続けることや将来の移動手段についての不安の有無をお伺いしましたところ、右円グラフのような結果となりました。

この結果から、今は、ご自身で移動できているものの、将来に不安をもたれている方が大変多いことがうかがえます。

また、**問10**では、コミュニティタクシーの利用についての意向、**問11**では、そのための地域での運行への協力について、お伺いしたところ、右円グラフのような結果となっています。

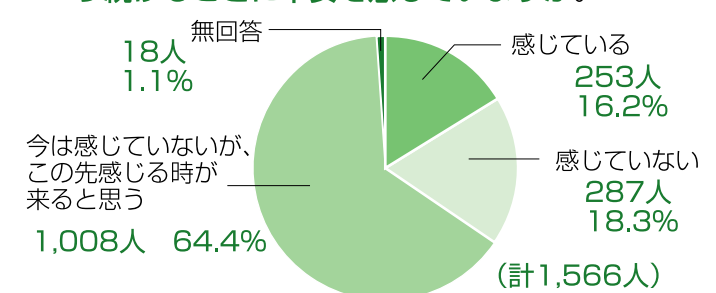
この結果からはコミュニティタクシーの利用、運行への協力について、多くの方が必要であり、協力していくと考えられているようです。

大歳自治振興会では、こうした結果をさらに分析し、今後、議論を深めてまいりたいと考えています。

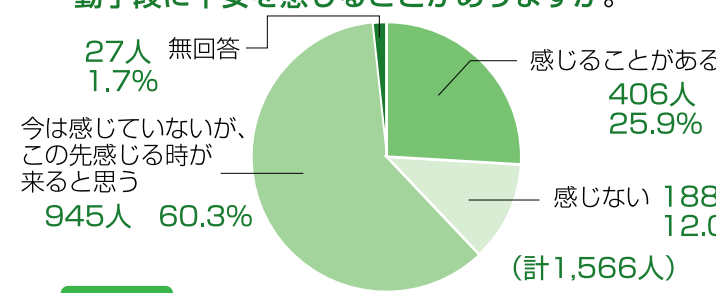
引き続き、皆様のご意見等をお寄せいただきますとともに、ご協力をお願いします。

問5 問4で自由に使える自動車等を持っている人に対して

(1) 高齢者等に対する免許返納制度もある現状を踏まえ、これからも自動車等に乗り続けることに不安を感じていますか。

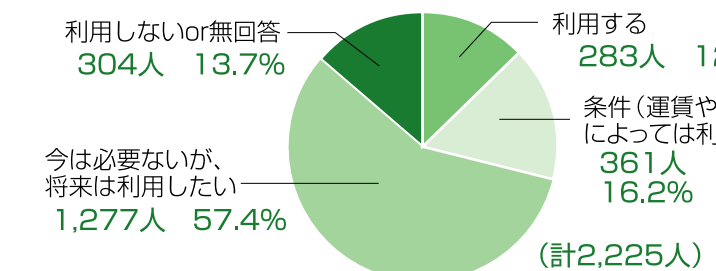


(2) 将来にわたって、だれもが安心できるまちづくりを進めていく中で、地域内の移動手段に不安を感じることがありますか。

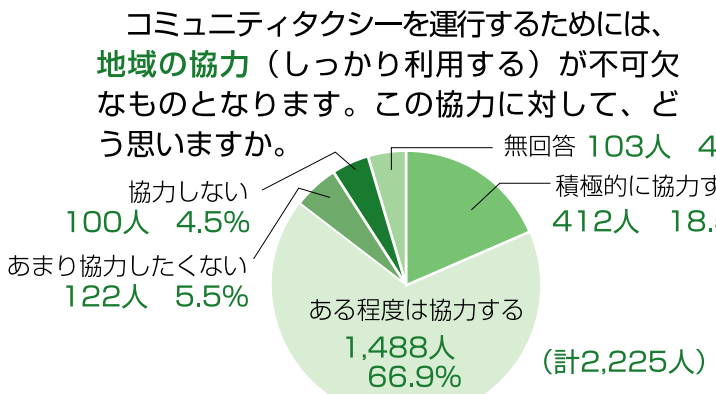


問10 大歳地区内でコミュニティタクシーを走らせた場合、利用しますか。

利用しないor無回答



問11 コミュニティタクシーを運行するためには、地域の協力(しっかり利用する)が不可欠なものとなります。この協力に対して、どう思いますか。



「7. 21おとし防災の日」イベント開催

今年は、6月13日(土)に大歳地域交流センターで開催する予定です。

内容は、「自分の命は自分で守る」さらに「地域は地域で守る」という意識を醸成することを目的に、体験やクイズに挑戦するものとし、老若男女を問わず、地域の防災に対して、興味を持っていただけるような催しにしたいと考えています。

詳細は、チラシ等で改めてお知らせしますので、たくさんの方の参加をお待ちしています。



昨年の防災イベントの様子

大歳歴史の散歩道 Vol.11

中矢原の新鮮市場近くの街道沿いに調べの森の説明板がたっています。大内輝弘(義隆の従兄弟)の侵攻に際し、この地に関所が置かれたと書かれていますが、もっと重要な施設だったようにも思えます。

永禄12年(1569年)毛利氏の主力は博多で大友軍と対峙していました。ところが、その虚をつくように、10月10日、輝弘が大友水軍の支援で、秋穂に上陸、12日には山口に入り、毛利側の鴻峯城を囲みました。その速さは関所など設ける暇を与えなかったでしょう。輝弘軍には大内浪人が続々と加わり、数千に膨れ上がったといえます。

元就は即座に九州から毛利軍を帰還させます。10月20日には吉川元春率いる毛利軍主力も長府を出発。毛利の大軍来るの報だけで輝弘軍は戦わずして総崩れとなり、輝弘は秋穂に逃れますが、すでに大友水軍の姿はなく、浦伝いに逃れ、25日には防府の茶臼山で自決して果てます。

この経過だけ見るとあっけない反乱に、九州支配という長年の夢を捨てて軍を返させた元就は臆病過ぎるのようになります。しかし、毛利の制海権下にある秋穂への輝弘軍上陸を「見逃し」た能島村

大歳地区戦没者追悼慰霊祭

4月18日(土)ご遺族をお招きし、大歳地域交流センター講堂で慰霊祭が無宗教方式により執り行われました。吉富自治振興会会長と藤村大歳地区遺族会会長のお二人が戦没者の諸霊に追悼の言葉を捧げられ、最後に出席者全員で献花をし、終了いたしました。



ご遺族代表による献水・献茶

しらべの森はしらめの森? その1

上水軍の裏切りや、浪人米支給など様々な懐柔策で落ち着いたはずの大内氏旧臣が次々反乱に参加するなど、成り上がり大名毛利氏の支配体制が脆弱であることを元就は良く知っており、その克服に全力をあげる決意をした上での決断とも考えられます。しらべの森は戦時の一時的な関所などではなく、大内旧臣に対する毛利氏の徹底弾圧の場として設けられたものではないでしょうか。

調べの森
永禄十一年(一五六九)大内氏の残党、輝弘が、失地回復のため秋穂に上陸した際、毛利氏の防軍がここに関所を設けて通行人を調べたので、「調べの森」と呼ばれるようになったと伝えられています。田園通の側に大正年間まで遺跡(石の老松)があったと伝えられ、反対側に昭和年代まで大木があり、切り倒されましたが、その古株が残っています。
なお、大内については「大内にて火を立て(ろ)しを上げ一候はは、鴻ノ峯(城)より火を合せ申し候」吉田物語とあり、この大内は山口の西口の豊地でありました。
平成二十四年八月
大歳史談会



昨年のふるさとウォッチングのときに訪れた「調べの森」

大歳自治振興会 総会開催

4月18日、大歳地域交流センターで平成27年度自治振興会総会が開催され、平成26年度の事業、決算及び監査報告並びに平成27年度の事業計画、活動予算が賛成多数で承認されました。

また、役員の変更も行われ、会長は引き続き吉富滋浩氏、副会長に地区社会福祉協議会会長の野々村壽代氏と自治会長会会長の水岡隆廣氏が選任されました。



副会長 水岡 隆廣

ただ、事務局を担当する副会長については推薦がなく、一旦空席とすることとなりました。

大歳自治振興会では、今年1年、地域の皆様にご協力をいただきながら、各種事業を進めてまいりますので、ご協力よろしくお願ひします。



平成27年度 地域づくり事業計画の紹介

各部部长、委員長さんに伺いました

自治会活性化部会

今年度もあいさつ運動を展開します。標語入りのぼり旗も新しくなりました。地区内で明るいあいさつを皆さんでかわしましょう。昨年の1自治会1事業に15自治会が取り組まれました。今年は20自治会を目標にしていますので各自治会のご協力をお願いします。

夏休みラジオ体操も自治会での取り組みをお願いします。大歳地区一斉清掃は10月18日(日)です。住民の皆さんのお力で地区内をきれいにしましょう。



自治会活性化部部长 武波 義明

健康福祉部会

健康福祉部会では高齢者の増加に伴い、高齢者福祉に取組み、今年度も地区社会福祉協議会と連携し協働で「見守り」「ふれあいの場づくり」「福祉サービス」等の充実を進めてまいります。



健康福祉部部长 山下 十三

ご支援、ご協力よろしくお願ひします。

安心安全部会

安心安全部会では、大歳地区で、事件や事故のない“安全で安心なまちづくり”のために、次の3点を中心に活動します。

1つには、「生活安全」で、生活安全セミナーの開催やわんわんパトロール隊による見守り活動を推進します。

2つ目は、「交通安全」で、パンフレットの配布や交通立哨の実施、さらには、高齢ドライバー講習を開催します。

3つ目は、「犯罪の起こらない環境づくり」で、草刈り隊によるクリーン活動、幸福神社の設置による不法投棄防止、ゴミ出しマナーアップの広報活動を推進します。生活安全・交通安全は、毎日の問題です。まず、身近な「鍵かけ」と「安全運転」から始めましょう。



安心安全部部长 米屋 泰宏

文化スポーツ部会

文化スポーツ部会が担う
主要な事業は、**体育祭、お
おとし夏まつり、大歳まつ
り**です。本年度は、体育館
工事、交流センター増築工
事により体育祭は中止とし



文化スポーツ部会長
升田 正通

ました。しかし、夏と秋の
まつりは実施します。これらの行事は、地
区の三大イベントとして多くの地区住民が
参加し、楽しく、喜ばれる行事と考えます
ので、引きつづきその充実を目指します。

また、**グランドゴルフ大会**は、誰でもで
きるスポーツとして子どもからお年寄りま
で多くの方が気楽に参加できる行事です。
地区全体として取組みを進めますのでご協
力をお願いします。

交流列車おとし運営委員会

今年度も、9月に「**交流
列車おおとしまつり**」を開
催する予定です。



交流列車おとし運営委員長
勝井 勝治

昨年は、天候にも恵まれ、
300人以上の来場者があ
り盛大に行うことができま

した。
今年もちびっ子からおじいちゃんおばあ
ちゃんのご来場をお待ちしています。

交流列車「おおとし」は、約30人程度が
入れる会議室です。ハワイアンバンドやオ
カリナ、大正琴
等の定期利用団
体の方々も利用
されています。
ご利用をお待ちし
ています。



昨年の交流列車おおとしまつり

こども部会

こども部会では、**子育て
支援、子ども会活性化、交
通見守り、しめ縄・どんど
焼きなどの三世代交流、親
子地域歴史探訪**などの事業
をしています。



こども部会長
兒玉 達哉

また今年度は、秋穂地域

での**ヨット教室**や親子等で参
加する新たな事業を実施して
いきます。



昨年の活動の様子

広報委員会

自治振興会の広報誌「**ま
ちづくりかわら版おおとし**」
を隔月で発行しています。
今年度は、「質問・要望」
コーナーなども設け、住民
の皆さんの声を直接とりあ
げるなどの工夫をしたり、
活動する人の思いや息づかいが伝わる紙面
づくりに努めます。



広報委員長
武波 義明

自治振興会がめざすまちづくりのイメ
ージを豊かにし、創造的な取り組みが広がる
手伝いができる
内容にするた
め、かわら版と
自治振興会の**ホ
ームページ**の改
善に努めます。

